

## 平成 28 年度東浦町パートナーシップ推進事業補助金審査会

平成 28 年 7 月 9 日（土）の 14 時から、東浦町勤労福祉会館会議室 D で、平成 28 年度東浦町パートナーシップ推進事業補助金審査会を開催しました。

書類と公開プレゼンテーションにより事業の採択と助成額について審査し、応募申込団体 2 団体（全団体）の事業が採択されました。

団体によるプレゼンテーション（発表）時間は、7 分間です。その後、審査委員から質疑があります。プレゼンテーション後、審査委員会が事業の採択や助成額等について審議します。

### 当日プログラム

#### I 公開プレゼンテーション

①東浦アートプロジェクト

②特定非営利活動法人新青樹

#### II 審議

#### III 講評

### 東浦アートプロジェクト



#### 町制 70 周年を記念とする市民映画制作のワークショップ

市民映画制作のためのワークショップを通して、住民同士のつながりや連帯感を醸成したい。住民同士のつながりが生まれることで、住民と行政が一体となって事業を進める意識が生まれる。性別や世代、国籍を問わず意見を出し合える場をつくり、地域の魅力を広めることで、よりよい地域社会づくりに貢献する。

### Q&A

Q1 平日の夜間のワークショップでは参加者層に限られる。

「多世代・多文化の交流の場づくり」と矛盾が見られるが、どのように考えているのか。

A1 ワークショップの進行をするファシリテーター（講師）の都合上、平日の夜間となった。ワークショップ自体は講師にあわせたスケジュールとなっているが、交流が目的であるため、土日の昼間に集まり、ワークショップ以外のところで、気軽に話せる場を設けたいと考えている。

### 委員からの講評

自分たちの力で映画をつくり P R することは東浦のためになると思う。ただし、「映画制作」を目的とせず、ワークショップを通じた住民主体の活動風土の醸成が町の狙いであることを忘れずに取り組んでほしいと思う。

1 年後の報告会では、話し合いのプロセスの中で、いろいろな人が関わり、豊かな議論ができたということを見せてほしい。行政主導ではなく、住民主体で行うワークショップの可能性について、行政だけではなく地域の人にも見せていけるような事業になることを期待している。

### 特定非営利活動法人新青樹



#### 28 年度プレーリーダー養成講座

昨年度のパートナーシップ推進事業に採択され、プレーリーダー養成講座を開催し、11 名中 7 名の受講者が残った。今年度も引き続きプレーリーダー養成講座で応募する。

地域で「子育て」を担い、多世代の公園利用の在り方を啓発していく人材の育成を目的にプレーリーダー養成講座を開催する。

### Q&A

Q1 経験上、事業を維持していただける人材を養成するには、5 年くらいかかると思うが、ぜひ続けてほしい。地域としてもできるだけの協力はしたいが、受講を地域からおねがいすることは難しい。

A1 プレーパークには、プレーリーダーとボランティア以外にも、「世話人さん」という方がいる。世話人さんは、その日に来て、その日の子どもたちの様子を見ている人だが、子どもたちを見ることによって、公園のあり方についての啓発活動をしていただいている部分が多分にある。そういった関わり方もあると思う。

### 委員からの講評

2 年目ということで、着実に事業を進めてほしい。一方で、毎年同じことを同じだけ行うだけでは十分でないところが出てくると思う。反省や工夫を各年度行い、取組を進化させていく姿勢を保ってほしい。

プレーリーダーの養成が今回審査した事業ではあるが、地域の公園を地域のみならず、つくっていくことが、町が提示しているテーマだ。各地区の公園が有効に使われるように話が広がっていくとよいと思う